

市報うんなん Unnan

10

2026 No.263

特集

雲南市地域公共交通計画が

新しくなりました



えすこな 雲南市

Well-being for all UNNAN
みんなが幸せに暮らせるまち

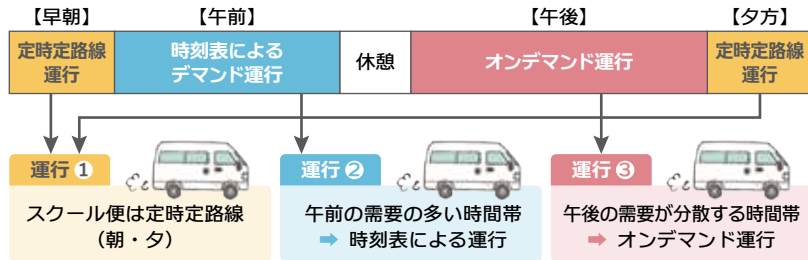


今月の表紙：龍頭が滝まつりでの滝おどり

だんだんタクシー（だんだんバス）のサービス内容改善

バスの利用が少ない区間や時間帯では、だんだんタクシー・だんだんバスを活用し、自宅近くから目的地近くまで移動しやすい仕組みを検討します。現在の町域の運行を基本としながら、通院や買い物などの行き先に応じて、町域を越えて利用できる範囲を広げることも検討します。

運行イメージ



※時刻表によるデマンド運行とは、あらかじめ定められた時刻表（ダイヤ）に基づき、利用者から予約のあった便のみを運行する方式を指します。
※オンデマンド運行とは、あらかじめ設定された運行時間帯の中で利用者からの予約を受け付け、他の利用者の予約状況も踏まえながら、乗降地点や運行経路、配車を柔軟に調整して運行する方式です。

皆さんにお願いしたいこと

この計画は、行政だけで取り組むものではありません。

市民の皆さん、交通事業者さん、地域活動団体の皆さん、そして行政が「総働」で取り組みます。

まずは、乗ってみる

市民は、公共交通の利用者として、まず自らが利用します。
一人ひとりの利用が、地域の公共交通を支えます。

取り組むこと

自分自身が乗ってみる、家族・友人・知人と一緒に乗ってみる など

みんなで使う きっかけをつくる

地域は、交通事業者と市民をつなぐ役割を担います。
また、地域の活動や行事を通じて公共交通を利用する機会をつくり出します。

取り組むこと

独自のチラシ作成など、地域に合わせた利用方法を考える など

安全・安心な運行で、暮らしを支える

交通事業者は、安全・安心に利用できる交通環境を提供します。
また、利用者の声を反映したサービス改善や、新たな技術・サービスの導入に取り組めます。

取り組むこと

・安全・安心な運行を継続する
・事業者間での連携や協力 など

制度を整え、 総働の取り組みを支える

行政は、効率的で持続可能な交通体系の構築に向けて、制度設計や財政支援を行います。
また、地域や交通事業者など、多様な主体による総働の取り組みを支えます。

取り組むこと

安全で安定的な運行を支える基盤を整備する など

急募!

市民バスの運転手を募集しています。
少しでも関心のある方は、ぜひご連絡ください。

お問い合わせ

交通政策室 Tel 0854-40-1014

計画書本編・概要版を
市ホームページに
掲載しています。



<市ホームページ>

雲南市地域公共交通計画が新しくなりました

～えすこな公共交通をみんなでつくっていきましょう～

【問】交通政策室 Tel0854-40-1014

雲南市は、人口減少や運転手不足など、交通を取り巻く大きな変化に直面しています。

こうした状況から、将来にわたって誰もが安心して移動できる、もっと便利で、もっとあたたかい「えすこ（いい具合）」な公共交通を市民の皆さんと「総働※」でつくり、守っていくための大切な指針として、この計画を策定しました。



基本理念

「総働」でつなぎ、支え合う、市民みんなの公共交通

～持続可能で、誰もが暮らしやすい「えすこな雲南市」をめざして～

※総働：地域や事業者などの立場や世代を超え、関係人口などと連携しながら自然環境や歴史文化などあらゆる資源を生かした多様な協働のこと

アンケート結果などからみえてきた市の公共交通に係る課題

課題 ①

市民の暮らしと公共交通の「ズレ」を解消する

課題 ②

だんだんタクシーを生かして誰もが使いやすいサービスにする

課題 ③

通学環境を改善し、公共交通を利用しやすい環境に整える

課題 ④

交通の「担い手」が、未来に希望を持てる事業環境をつくる

課題 ⑤

公共交通を「他人ごと」から「自分ごと」へ変える

課題解決のために重点的に取り組む2つの事業

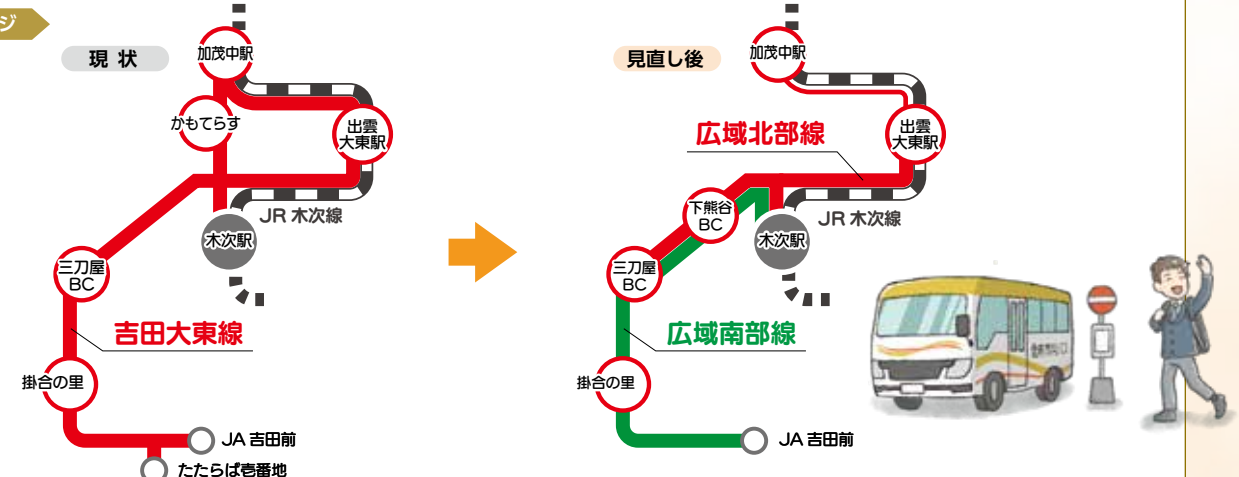
事業 1

市民バス吉田大東線の再編

降雪や事故などによる遅れや路線全体の運休をできるだけ防ぎ、運転手の負担軽減と安全性の向上を図ります。また、利用者にとって分かりやすく、利用しやすい運行をめざします。

日中の便は、木次駅や三刀屋バスセンター（BC）を主な乗り継ぎ場所として路線を分け、JR木次線を生かした運行時刻を検討します。

再編イメージ



住まいの終活は愛のかたちプロジェクト

～家族や周りの人が困らないために～

【問】 うなん暮らし推進課 Tel 0854-40-1014



「住まいの終活は愛のかたちプロジェクト」は雲南市に住む皆さん一人ひとりが元気なうちから住まいの将来を考え、家族と話し合ったり準備や対策ができるように、住まいの終活に関する情報をお伝えしていきます。



住まいの終活×防災対策

「住まいの終活」が防災対策にもなることをご存じですか。

家の中の物を減らしておくことや、大切な書類を整理しておくことは、災害時の散乱・紛失を防いで安全性を高めることになり、地震などの災害への備えにつながります。

住まいの終活をすることは、今の暮らしにも役立ちます。



持ち物と書類の整理から始めましょう

- | | |
|--|---|
| ☐ 壊れた物や使わなくなった物を処分していますか | ☐ 貴重品や重要書類がどこにあるか把握できていますか |
| ☐ 落下の危険がある物を高い場所に置いていませんか | ☐ 緊急時に持ち出せる場所に保管していますか |
| ☐ 廊下や階段、出入口に物を置いていませんか | ☐ 保管場所を家族と共有できていますか |

整理ができると次のような安心につながります

- 家の安全性が高まり、災害時の事故リスクが減る
- 家全体がすっきりして、日常生活や避難行動がしやすくなる
- 貴重品や重要書類が散乱・紛失するリスクが減る



一度に全部やろうとしなくても大丈夫です。

「今日はここだけ」、「5分だけ」でも、少しずつ進めることが大切です。

住まいの終活講座

うなん終活支援センターの行政書士や宅建士など専門家を講師に迎え、相続や不動産などの「住まいの終活」の基礎を知る講座です。

<10月以降の開催予定>

- | | |
|----------------|-----------|
| ① 10月20日(火) | 住まいとお金 |
| ② 12月12日(土) | 住まいの将来 |
| ③ 令和9年3月10日(水) | 相続と遺言書の基本 |

【時 間】 10:00～12:00 【場 所】 雲南市役所

【参加費】 無料(予約制)

※詳細は市ホームページでご確認いただくか、うなん暮らし推進課に問い合わせください。

【問い合わせ・予約先】 うなん暮らし推進課

Tel 0854-40-1014 / unnangurashi@city.unnan.shimane.jp



相談会日程

うなん終活支援センターでは、毎月「終活よろず相談会」を開催しています。相談は無料です。個別で相談をご希望の方は下記にご予約ください。
【問い合わせ・予約先】 うなん終活支援センター
Tel 070-9138-1611

住まいの終活は、家を手放すときのためだけの準備ではなく、これからも安全・安心に暮らしていくための備えでもあります。

家族と一緒に片付けたり、少しずつ整理を進めたり、今できることから無理のない範囲で始めてみましょう。

住まいの終活も防災も、「まだ大丈夫」と思っている今だからこそ始めることが大切です。

小さな備えが将来の安心につながります。

市の空き家に関する相談窓口

【空き家バンクに関すること】

うなん暮らし推進課 Tel 0854-40-1014

【空き家全般に関すること】

空き家対策室 Tel 0854-40-1066

令和8年度市政懇談会を開催しました

【問】 広報広聴課 Tel 0854-40-1015

令和8年度市政懇談会を、7月3日(金)から7月28日(火)にかけて市内6会場で開催しました。当日はメインテーマを「将来を見据えた今後の施設整備の進め方について」と題し、次期一般廃棄物処理施設や今後の大規模事業について市長より説明を行いました。

市長の説明後は、テーブルごとに意見交換の時間を設け、参加者は「意見・提案カード」にそれぞれテーマに関するもの、地域課題に関するものなどさまざまな意見や質問を書き入れました。カードは回収し、その場で分類した上で市三役より総括的に回答するという形式で進め、「参加しやすく、意見を出しやすく」をめざして開催しました。

当日いただいた意見 (意見総数282件から抜粋)

次期一般廃棄物処理施設に関するもの

- 委託で経費を抑える方向性がよい。
- 委託した民間企業が廃業したらどうなるか。安定性に問題はないか。
- 現在持ち込みしているごみの扱いや、分別方法、回収の回数はどうなるか。

今後の大規模事業に関するもの

- 木次中学校建設は中学校の統合を見越した建設か。単独ではなく統合した方がよいのでは。
- 三刀屋文化体育館アスパルの空調設備が全て補助金で対応できるのはよい。
- 掛合体育館を早く整備して一般開放すべき。
- 掛合体育館の整備や建て替えは必要か。費用対効果をどう考えるか。
- 大東体育館のトイレの改修が早くできないか。

メインテーマ以外の地域課題に関するもの

- 少子化による学校のあり方、集約などの考え方を聞きたい。
- 自治会の高齢化と若者不足で各事業がうまく進まない。自治会の統合について市はどう考えているのか。
- 市の人口減少対策はどうか。
- 今後空き家が増えてくるが、市としての対策はあるか。
- 農業政策の推進と地域計画のブラッシュアップをしっかりとしてほしい。
- 認知症でも大丈夫な雲南市のために、より具体的な行動を起こす必要がある。
- キエーロコンポストの説明会を自治会単位で実施するなど、ごみの減量化にもっと取り組むべき。



説明する石飛市長(三刀屋会場)



「意見・提案カード」を記入する参加者
(上:木次会場・下:掛合会場)

今後、当日いただいた意見と回答を「令和8年度市政懇談会報告書」として市ホームページで公開します(総合センター自治振興課・市民サポート課での縦覧も行います)。また、意見は全て各部署に共有し、今後の施策に生かしていきます。

迫力の松明行列 第22回神宝火祭

8月22日、第22回神宝火祭が地域自主組織「加茂まちづくり協議会」の地元支部「神宝の郷21支部」の主催により、神原神社境内で開催されました。

祭では、神宝こどもみこし、地元スタッフや有志グループによる屋台村、アトラクションのダンスや歌が披露され、境内は大いに盛り上がりました。暗くなると、メインイベント「松明行列」が行われ、一列に連なる幻想的な松明の灯りは、最後に境内へと集まり、炎の明るさに照らされながら全員で松明を掲げ、締めくくりました。



▲松明を掲げる参加者たち

泥だらけの熱戦 泥んこバレー大会

8月30日、泥んこバレー大会が大東町久野地区の若者団体「久野若志会」主催により、かみくの桃源郷（大東町上久野）近くの水田で開催され、市内外から16チーム、125人が出場しました。

この大会は地域自主組織「久野地区振興会」協力のもと12年目を迎え、初参加のチームから常連チームまで、楽しみながら盛大に熱戦が繰り広げられました。選手からは「大人になってから泥まみれになることはなかなかないのでいい思い出になった」、「来年もあればぜひ参加したい」といった感想が聞かれました。



▲会場の様子



▲ネット際の攻防



▲泥の中に飛び込んだ選手



▲得点が入り喜ぶ選手たち

地域の自然から学ぶ 吉田中学校「森林学習」

8月31日、吉田中学校全校生徒15人が株式会社なべたたらの里の協力により「早生桐」を育成している吉田町内の森に出掛け、森林学習が行われました。

生徒たちは木々の間を歩きながら自然の豊かさを感じるとともに、森林の様子を観察したりシートを敷いて横になる「森ぼっこ」などの森林セラピーを体験したりしながら、興味や理解を深めました。地域にある貴重な資源や自然環境について改めて学び、ふるさとへの愛着や環境を大切にしたい気持ちを育む機会となりました。

※早生桐：通常の桐と比べて早く成長する、二酸化炭素の吸収能力に優れた品種の桐



▲森ぼっこを体験する生徒たち

三刀屋放課後児童クラブ 「座禅体験」で精神集中

8月5日、三刀屋放課後児童クラブ夏の恒例イベント「座禅体験」が、三刀屋町の梅窓院で行われ、1年生から4年生までの約50人が参加しました。

住職の高橋睦明さんから座禅での座り方などを教えてもらおうと、背筋を伸ばしてじっと心を落ち着かせて座禅を始めました。途中で水分補給の休憩をとりながら、約40分間の座禅をやりきりました。こどもたちからは「足が痛かったけど、落ち着いた」、「がんばった」といった感想がありました。



▲高橋住職からの説明を真剣に聞くこどもたち

長崎原爆の日 永井隆博士への思いを捧げる 「永井隆タイム」開催

8月9日、長崎市へ原子爆弾が投下された日に合わせ、「永井隆タイム」が地域自主組織「雲見の里いいし」主催により「いいしへいわの里（旧飯石小学校）」で開催され、約40人が参加しました。

当日は、永井隆博士に関する書籍や書画の複製などのうち、まだ整理しきれていない資料を全員で広げ、参加者は自身の思い出も振り返りながら話に花を咲かせていました。原爆投下時刻である11時2分には全員で黙とうを捧げ、博士の「平和を」・「如己愛人」の精神にあらためて思いを馳せる時間となりました。



▲資料を広げる作業をする参加者たち

地域の若者グループが企画！ 2026楽しみ田井！の日

8月9日、「2026楽しみ田井！の日」が田井地区の若者グループ「なちゅらる田井」と地域自主組織「田井地区振興協議会」の主催により田井交流センター周辺で開催されました。

第1部「親子で遊ぼう深野川」では、ケアポートよしだ前の深野川で親子を対象にボート遊びやごぞ渡りなどの川遊びを行いました。夕方からの第2部「夏と！旨いもと！音楽と！フェス」では、ステージイベントとたくさんの飲食ブースが設けられ、多くの来場者でにぎわいました。



▲深野川で川遊びをする様子

企業の悩みを若者がデジタルの力で解決 「第2回雲南DXハッカソン」開催

8月18日、「第2回雲南DXハッカソン」をマルシェリーズ内「ピコテラス」で開催し、市内企業などが抱えている経営課題に対し、学生がITやデジタルの力を活用して解決策の提案を行いました。

今回は市内の3事業者から提供された経営課題に対し、県内外の大学や専門学校に通う学生たち8人がグループに分かれて、課題の内容を対話で深掘りしながら、AIなどのデジタル技術を駆使し、解決策を検討・発表しました。事業所からは提案を受けた率直な感想や実現の可能性などについて評価が行われました。

※ハッカソン：ハックとマラソンを掛け合わせた造語で、エンジニアなどが短時間でアイデアを形にし、アプリなどを開発するイベント



▲対話を重ねながら解決策を検討する参加者たち



オープニングイベントの様子



司会者

誓いの言葉を述べる白築さん

令和8年度雲南市二十歳の集い

8月14日、雲南市二十歳の集いを三刀屋文化体育館アスパルで開催しました。令和8年度に二十歳を迎える245人が出席し、人生の節目に誓いを新たにしました。

式典のオープニングイベントは、「チームのみんなとどれだけシンクロできるか」をテーマに、雲南市や同世代の思い出に関する問題について、ランダムに編成されたチーム内の回答一致率を競う「目指せ！シンクロ率100%」が行われました。参加者同士の共通点や違いを楽しみながら地元や自身を思い返す機会となりました。

式典では、石飛市長から「社会の仕組みや価値観が日々変化の中で、正解のない課題に向き合い、変化を恐れることなく新しいことに果敢に挑戦し、社会の一員として必要とされる存在へと成長されることを願っています。ふるさと雲南市を誇りに思い、それぞれの立場で地域と関わりながら未来の雲南市とともに築いていただきたい」とエールを送りました。

二十歳を代表して三刀屋町出身の白築 葵さんは「目まぐるしく変化する社会を生きる中で、見えない未来に漠然とした不安に駆られることもありますが、雲南市がいつでも帰ることのできる『心安らぐふるさと』としてあることが、私たちが前を向いて進むエネルギーになっています。二十歳という人生の節目を迎え、社会の一員としての自覚を強く持ち、それぞれの目標に向け前進するとともに、さらなる雲南市の発展のために尽力していきます」と誓いの言葉を述べました。

会場やロビーでは友人との久しぶりの再会を懐かしむ、にぎやかな声が響いていました。

※白築さんのあいさつは紙面の都合上、抜粋・編集しています。



※掲載できなかった画像はfacebook、Instagramの市公式アカウントで発信しています。



facebook



Instagram

【問】社会教育課 Tel 0854-40-1073



Instagram



Facebook



島根トヨタグループ株式会社・雲南市

車両使用貸借契約締結式・実証運行出発式

9月2日、島根トヨタグループ株式会社と雲南市との間で「車両使用貸借契約」を締結し、実証運行が始まりました。

道幅が狭く従来のバスが通行できない、環境に配慮した移動手段の確保が必要といった市の抱える課題と、島根トヨタグループが推進する地域課題解決の取り組みが合致し、小型かつ環境性能の優れた車両の半年間無償貸与となったものです。締結に際し島根トヨタグループ株式会社の野々村健志代表取締役から「地域の皆さんのよりよい移動の形を市とともに考えたい」とあいさつがありました。



▲実証運行出発式の様子

100歳を超えても健康、元気！

「しまね健康超寿者」知事表彰受賞

9月5日、木次町の宇都宮正男さん（100歳）が丸山知事から「しまね健康超寿者」表彰状の贈呈を受けられました。

県では、県内在住の100歳以上の方で、心身ともに健康で社会との関わりを持ちながら生活されている健康長寿者を「しまね健康超寿者」として表彰しています。今年度は12人が受賞され、そのうち宇都宮さんが代表して丸山知事から直接表彰されました。表彰に際して丸山知事は「とても元気に100歳を迎えられ、本当におめでとうございます」とお祝いの言葉を贈られました。



▲表彰された宇都宮さん（左）と丸山知事（右）



vol.4

このコーナーでは、自立した社会性のある大人への成長をめざす市内小中学生の姿を伝えていきます。今回は中学生のボランティア活動の様子を紹介します。

地域での出会いのなかで、中学生が伸びる

～約220人の中学生が夏休みに市内各所でボランティア活動～

令和8年の夏休み、市内の中学生約220人が、交流センターや保育所、認定こども園、放課後児童クラブ、図書館、福祉施設など、市内約60カ所でボランティア活動に参加しました。活動を受け入れていただいた地域の皆さんには、中学生を温かく迎え、貴重な学びの場を提供していただきました。この活動は中学生が地域で活動する人や地域の魅力を身近に感じるとともに、「自分にも地域のためにできることがある」と気付くことを目的としています。

参加した生徒の声

- いろいろな人と話すことができ、コミュニケーションに自信ができました。
- 「ありがとう」と言ってもらえて、ボランティアをしてよかったと思いました。
- 地域の方と楽しく関わることができ、地域をより身近に感じました。

受け入れ事業所の声

- 前向きに、一生懸命取り組む姿がとても印象的でした。
- 保育園の卒園児がボランティアとして帰ってきてくれて、園児たちと楽しそうに関わる姿を見ることができて嬉しかったです。

今回の活動を通じて、中学生たちは地域の中で多くの人と出会い、さまざまな経験を積むことができました。地域に出て、人と関わりながら学び・育つ経験が、中学生にとって身近で自然なものとなるよう、これからも地域の皆さんとともに、こどもたちを地域の中で育む環境を広げていきます。



▲園児と一緒に水辺の観察をする様子



▲地域の方々とイベントの昼食づくりをする様子

雲南病院だより

附属掛合診療所の取り組み



附属掛合診療所 所長 服部 修三

掛合診療所では、皆さんの体全体と日々の生活を丸ごと診る「総合診療」を行っています。

「何科に行けばいいかわからない」、「体調が少し気になる」、「健康について相談したい」など、いつでも気軽にご相談ください。

皆さんが、安心して暮らし続けられるよう、身近な医療を提供します。



雲南市立病院とつながる安心

① 症状の共有

市立病院の医師が掛合診療所で診察を行っています。患者さんの症状や経過について、病院と診療所の間で症状を共有できます。

② 市立病院へスムーズな紹介

詳しい検査や入院が必要なときは、市立病院に速やかに紹介できる仕組みが整っています。

③ 退院後のサポート

退院後の診療・健康管理は診療所が引き継ぎます。通院が難しくなった場合は自宅への訪問診療にも対応します。

掛合診療所の「へえ〜」な裏側、集めてみました！

実は、医師が「学校」や「会社」でも活動中

医師は診察室の中で診察するだけではありません。地域の学校の「学校医」や、会社の「産業医」としての役割を担っています。こどもから働く世代まで、地域の皆さんの健康をさまざまな場所で支えています。

実は、地域の人々で支えあっています

診療所では、地域のケアマネジャーや薬剤師、福祉スタッフの皆さんと定期的に話し合いをしています。医療と介護がひとつのチームになって、皆さんの暮らしをサポートしています。

実は、同じ建物の中に「歯医者」もあります

診療所には歯科もあります。虫歯の治療、入れ歯の調整、口腔ケアまで同じ建物内で受けることができます。「お口の健康」もお任せください。



附属掛合診療所
ホームページ

総合診療科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:00	●	●	●	●	●	休	休
13:30~15:00	●	●	●	●	休	休	休
	※注		※注	(毎月第1金曜は波多診療所)			

※注 14時以降は診療所外での回診

歯科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:00	●	雲南病院勤務	雲南病院勤務	●	●	休	休
13:30~15:00	●	雲南病院勤務	雲南病院勤務	●	●	休	休

待合室では健康情報をたくさん発信中！



▲見通しの良い廊下
奥にはエレベーターもあります



▲受け付けカウンターの様子



◀診察室の様子



▲待合室には畳スペースもあります



◀待合室では血圧測定ができます

皆さんの「気になる…」に
お答えします！



「健診の結果について相談したいの？」

結果用紙を持ってぜひ診療所にお越しください。

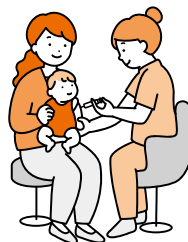
早めの受診が大切です。大きな病気を防ぐための一歩を一緒に始めましょう。



「子どもも受診できるの？」

もちろんできます。

お子さんの診療のほか、各種予防接種（BCGを除く）も行っています。気軽にご相談ください。



「診療所はどんな雰囲気？」

車椅子でも大丈夫？

診療所はバリアフリーになっています。車椅子対応のトイレも備えているので安心してご来院ください。



「認知症や介護のことも相談したいの？」

総合診療は「生活の困りごと」の最初の窓口です。一人で抱え込まずに気軽に相談ください。



まちづくり工房
うんなん
活動記第10回 吉田地区の暮らしと
地域医療をつなぐ対話

7月28日、吉田健康福祉センターを訪問し、地域の皆さんと雲南市立病院・平成記念病院の医療者による地域医療意見交換会を開催しました。吉田地区の住民、医師、看護師、保健師、医学生、病院職員、NPO関係者が参加し、日頃の暮らしの中で感じている医療への疑問や不安について語り合いました。

吉田地区は高齢化率が高く、一人暮らしの高齢者も多い地域です。一方で、近所同士の声掛けや、中学生が高齢者へ手紙を書き、民生委員が訪問する活動など、地域で支え合う取り組みが続けられています。そうした暮らしを支えるうえで、身近な病院や医療機関への期待も大きいことが伝わってきました。

意見交換では、「いつもの主治医でない先生に診てもらうのは不安がある」、「夜間や休日の救急体制はどうなっているのか」、「必要なときには早く専門病院へつないでほしい」といった声が聞かれました。病院側からは、主治医が不在でも対応できるよう電子カルテで情報を共有していることや、救急隊・医療機関が連携し、緊急度に応じて搬送先を決めていること、高次医療機関への紹介も医師同士で相談しながら進めていることをお伝えしました。

高齢のご家族の薬の管理についても、身近な困り事が挙がりました。飲み忘れや飲み間違いがあっても、本人の自分で管理したいという思いが強く、家族が注意すると関係が悪くなることがあります。お薬カレンダーや一包装に加え、薬の回数を減らす工夫や、受診前に医療者へ相談し、医師や看護師から本人へ伝える方法もあることを共有しました。

また、積雪の多い吉田地区ならではの話として、「家族が倒れたとき、救急車が来るまでに何ができるのか」という質問もありました。119番では通信指令員から電話で具体的な対応の指示を受けることができます。呼吸の確認や、嘔吐している場合には体を横向きにするなど、いざというときの基本的な対応を地域で知っておくことの大切さを話し合いました。

さらに、夏の農作業における熱中症対策や、水分・塩分補給、食事、飲酒についても話が広がりました。普段の暮らしの中にある疑問を、医療者と直接話せることも、この意見交換会の大切な役割です。

今回改めて感じたのは、地域医療は病院の中だけでつくられるものではないということです。住民の皆さんが日々感じている小さな疑問や困りごとを、顔を合わせて聴き、一緒に考えていく。その積み重ねが、安心して暮らし続けられる地域につながります。

これからも、まちづくり工房うんなんは、「地域と繋がる医療・福祉」を合言葉に、皆さんと歩み続けます。



意見交換の様子

市内各地に「ブルーサークル」が登場

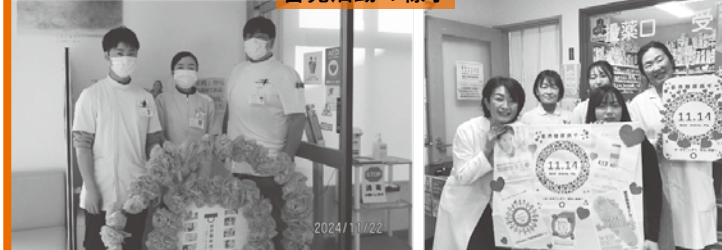
11月14日の「世界糖尿病デー」をご存じですか。この日は、世界保健機関（WHO）が「世界糖尿病デー」に指定し、各地で啓発活動が行われています。シンボルマークは、「ブルーサークル」です。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」で、「糖尿病との闘いのため団結せよ」の意が込められています。雲南市立病院では、例年11月中は、「ブルーサークル」を掲げ、啓発活動を行っています。昨年、近隣の調剤薬局も「ブルーサークル」を掲げることで、一致団結して糖尿病治療に関わっていくことを示しました。

糖尿病治療は、本人だけで戦うのには限界があります。家族はもちろん、医療・介護に携わる方々と一緒になって戦うことがポイントとなります。みんなで団結して、糖尿病に立ち向かいましょう。

糖尿病治療は、本人だけで戦うのには限界があります。家族はもちろん、医療・介護に携わる方々と一緒になって戦うことがポイントとなります。みんなで団結して、糖尿病に立ち向かいましょう。



啓発活動の様子

フォーカス
FOCUS

病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入職し、働いています。これからたくさんの知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

新入職員紹介

地域とともに歩む
作業療法士をめざして

医療技術部
リハビリテーション技術科

にし た まさなり
西田 壮成

入職1年目



作業療法士をめざしたきっかけは？

小学校の時に祖父が脳卒中を患い、介護が必要な状態になったことが、医療職に興味を持ったきっかけです。患者さんが「その人らしい生活」を取り戻すために関わることができる仕事に魅力を感じ、作業療法士をめざしました。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

地域医療を支える役割を担い、多職種が連携しながら患者さんを支えているところです。地域に密着した医療を実践できる環境に魅力を感じています。

仕事には慣れましたか？

少しずつ慣れてきましたが、毎日が勉強です。患者さんから学ぶことも多く、充実した日々を送っています。

職場の雰囲気はどうですか？

誰にでも相談しやすい温かい雰囲気や、職種を超えたコミュニケーションも活発です。職員同士が協力し合いながら、お互いを高め合える職場だと感じています。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

リハビリテーションを始めた頃は難しかった動作が、患者さんの努力によって少しずつできるようになり、その喜びを共有できた時がとても嬉しいです。

今後の目標を教えてください

患者さんが住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を続けられるよう、一人ひとりの思いに寄り添った支援ができる作業療法士をめざしていきたいです。

私のとある一日

- 8:30 出勤、情報収集
- 9:00 外来患者さんのリハビリテーション
- 10:00 入院患者さんのリハビリテーション
- 12:00 休憩
- 13:00 入院患者さんのリハビリテーション
- 16:00 カルテ記載
- 16:30 カンファレンスへの参加
- 17:15 退勤



リハビリテーションの様子



市内の
チャレンジを
応援して
ください!!

「人手“不在”時代に備える、地域企業の新生存戦略」セミナー

市では、地域人材の受け皿となる市内企業のDX化を推進しています。その一環として8月19・20日の2日間、企業の経営者や現場管理者を対象に「人材の活躍」と「AI活用」による強い組織づくりを進めるためのセミナーを開催しました。

【第1部】「人手不在時代の人材活用戦略」

講師：北条 友美さん（雲南市起業型地域おこし協力隊）



第1部で講演する北条さん

人手不在時代の人材戦略とは、人を採る戦略ではありません。AIの力で多様な働き方を生み出して、さまざまな人材の力が最大限発揮できる環境をつくることです。

【第2部】「AIの概要で終わらない！業務自動化実演セミナー」

講師：小山 躍人さん（ソウルダウト株式会社）

○AIによる業務アプリケーション制作の過程を実演
○AIを利用する際の注意点やリスクの回避方法を紹介



第2部でアプリケーション制作をする様子

【参加者の声】

- ・人口減少に対して会社がやらなければならないことを学んだ。
- ・思っていた以上に簡単にアプリケーションを作れるのだと思った。

【問い合わせ先】政策推進課 TEL0854-40-1011



わが家のHOPE 10月で満1歳おめでとう



いしかわ ひろと
石川 紘采ちゃん（木次町）
厚さん・純美さんのお子さん
1歳のお誕生日おめでとう♡
お姉ちゃん、お兄ちゃんとこれからも楽しいこといっぱいしようね♡



ふかだ なこ
深田 奈瑚ちゃん（加茂町）
朋宏さん・紗月さんのお子さん
私たちのところに生まれてきてくれてありがとう♡ なこちゃんの笑顔にいつも癒されてるよ♡ 1歳のお誕生日おめでとう！



ほそだ いっさ
細田 一朔ちゃん（大東町）
祝♡いっさいいっさい♡
元気に大きくなってきてくれてありがとう♡
たくさん笑って成長していこうね！

11月で満1歳（令和7年11月生まれ）のお子さんを募集！

写真に①お子さんの名前（ふりがな）、②お子さんの誕生日、③保護者の名前（ふりがな）、④保護者の名前の掲載希望の有無、⑤住所、⑥電話番号、⑦コメント（40字程度）を添え、郵便またはE-Mailで**10月8日(木)**までに広報広聴課へ送付ください。

郵送される場合の宛て先

〒699-1392 雲南市木次町里方 521-1
雲南市役所広報広聴課「わが家のHOPE」係

E-Mailを送られる場合の宛て先

kouhoukouchou @ city.unnan.shimane.jp
（タイトルは「わが家のHOPE」としてください。）

【問】広報広聴課 TEL0854-40-1015

※スマートフォンで撮影される場合、顔のアップを撮影されると枠にきれいに収まらないことがありますのでご注意ください。
※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。 ※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、広報広聴課から「到着確認」の連絡をします。投稿後、当課から連絡がないときは問い合わせください。

国際交流員(CIR)ペイトン クイン オーニーの異文化交流コーナー



第1話：
初めまして、
クインです！



ヘイディ イー
Howdy ya'll!
(こんにちは、皆さん)

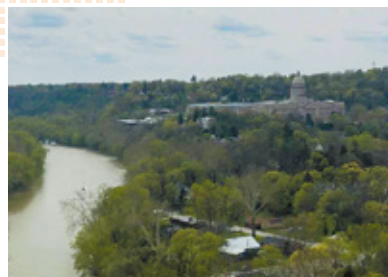
こんにちは うんなん
Greetings Unnan!

こんにちは。雲南市国際交流員のペイトン クイン オーニーと申します。「クイン」と呼んでください。私の妻のセーラも一緒に雲南市に住むので、これからよろしくお祈りします。では自己紹介として、私の出身と私自身について書いてみます。

まずは自己紹介です。あらためて、私はクインです。昨年大学を卒業しました。令和5年に山口県立大学に4ヵ月くらい留学しました。それをきっかけに、趣味として日本語を独学で勉強し始めました。他の趣味は音楽、ゲーム、旅行、筋力トレーニングと読書です。もしどこかでお会いしたら、お勧めの本やゲームなどを教えてもらえると嬉しいです。

次は、出身のアメリカ合衆国ケンタッキー州の紹介です。ケンタッキー州はフライドチキンで有名ですね。全体的には田舎で、私の故郷のフラ

ンクフォート市はアメリカ合衆国の中で4番目に小さい州都です。ケンタッキー州は競馬が特に盛んで、そのことを誇りに思います。毎年、5月の第一日曜日に「Kentucky Derby」という盛大なホースレースが行われ、それに合わせていろいろなイベントが開催されます。その時期が来たら、さらに詳しい話をしますので、ご期待ください。では、また来月。



フラン克福ート市にある
ケンタッキー州議会議事堂と
その隣のケンタッキー川



フラン克福ート市の
ダウンタウンの夕暮れ

子育てポータルサイト

ゆっくり、子育て。雲南市

子育て情報をひとまとめにしたサイトです。ぜひ、活用ください。

<http://kosodate-unnan.jp> または、右記の二次元コードから



令和8年度中学3年生の
『夢』発見ウィーク

10月7日(水)～9日(金)

～雲南市で生き生きと働く大人の姿から学ぶ～

『夢』発見ウィークは、職場体験を通し、雲南市で生き生きと働く大人の姿に触れることで「働くとはどういうことか」を探究し、自分自身の生き方について考える学習です。

市では毎年、全ての中学校で一斉に職場体験学習を実施しています。今年度も多くの方々に協力いただき、感謝申し上げます。

市内各所で職場体験学習をする中学生を見掛けられた際は、温かく見守ってください。

【問】キャリア教育政策課 TEL0854-40-1074



プレコンセプションケアを始めよう —思春期からの健康づくり—



プレコンセプションケア（略して「プレコン」）は、「性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う取り組み」のことです。
若い頃から将来の自分のために健康づくりに取り組みましょう。

今の自分を知るために、「プレコン・チェックシート」で以下の項目を確認しましょう。
（項目は抜粋しています。全てのチェック項目は下記二次元コードから確認してください。）

※出典：国立研究開発法人国立成育医療研究センターホームページ

<男性>

- ☐ バランスの良い食事を心掛け、適正体重をキープしよう。
- ☐ たばこや危険ドラッグ、過度の飲酒はやめよう。
- ☐ 生活習慣病やがんのチェックをしよう。
- ☐ 感染症から自分とパートナーを守る。（風疹・B型/C型肝炎・性感染症など）
- ☐ ワクチン接種をしよう。（風疹・おたふくかぜ・インフルエンザなど）
- ☐ HPVワクチンを接種しよう。
- ☐ 計画：将来の妊娠・出産やライフプランについてパートナーと一緒に考えてみよう。



<女性>

- ☐ 適正体重をキープしよう。
- ☐ 禁煙する。受動喫煙を避ける。
- ☐ アルコールを抑える。妊娠したら禁酒する。
- ☐ 食事とサプリメントから葉酸を積極的に摂取しよう。
- ☐ 感染症から自分を守る。（風疹・B型/C型肝炎・性感染症など）
- ☐ ワクチン接種をしよう。（風疹・インフルエンザなど）
- ☐ HPVワクチンを接種したか確認しよう。
- ☐ かかりつけの婦人科医をつくろう。
- ☐ 持病と妊娠について知ろう。（薬の内服についてなど）
- ☐ 計画：将来の妊娠・出産をライフプランとして考えてみよう。



国立成育医療研究センター
「プレコンセプションケアセンター」



子ども家庭庁
「はじめようプレコンセプションケア」

プレコンについて詳しく知りたい方はこちら⇒

【問い合わせ先】 子ども家庭支援課 Tel.0854-40-1047

こげなこしとーます！
研究所 うんなん
身体教育医学研究所うんなん
20th ANNIVERSARY
健康づくりに役立つ情報や、研究所うんなんの活動を紹介！
連絡先：Tel.0854-49-9050

実践と研究の循環

研究所うんなんが大切にしてきた「実践と研究の循環」という考え方を紹介します。

「実践」とは、地域で行われる健康づくりの取り組みのことです。「研究」とは、その取り組みがどんな効果を生んでいるのかを、データや科学的な方法で確かめることをさします。そして、この二つを何度も行き来させることで、「実践」と「研究」の両方の取り組みの質を高め、その成果を市の計画や政策に生かし、もう一度地域の暮らしへと戻していく。この一連の流れを「循環」と呼んでいます。
この循環は、研究所だけでは成り立ちません。地域の皆さんの協力はもちろん、市役所のさまざまな部署や

よりよい健康づくりの橋渡し

研究所うんなんが大切にしている「循環」とは、実践と研究の往復だけをさすものではありません。健康づくりは、教育、環境、産業、スポーツ、子育て、福祉など、あらゆる分野と深く関わっています。だからこそ、多くの人や組織、事業が自然につながり合い、協力しやすい環境をつくることが重要です。こうした多分野の協働がうまく進むように、地域のさまざまな人や組織、分野の間をつなぐ「橋渡し」の役割も担いながら、よりよい関係づくりやコーディネートが続けてきました。「実践」と「研究」を行き来させるだけでなく、さまざまな領域を超えて地域に健康づくりの取り組みが広がるような働きかけを心掛けてきました。
研究所うんなんは、これからも人・組織・分野・事業をつなぎ、「実践と研究の循環」を通じてよりよい健康づくりの取り組みが生まれるよう努めています。



市役所からのお知らせ

お知らせ

「出雲」ナンバーの 導入検討アンケート

政策推進課

Tel.0854-40-1011

国土交通省により、図柄入りナンバープレート（地方版）の新たな導入地域の募集が開始されました。島根県内でも「松江」、「石見」ナンバーの検討が進められている状況です。

神話に出てくる出雲地方の統一的魅力による広域観光の推進を図る観点から、出雲市、奥出雲町、飯南町の構成で登録されている「出雲」ナンバーの導入について、市では再度検討を進めることにしました。

市民の皆さんのご意見をお聞きするためにアンケートを実施しますので、趣旨をご理解いただき回答へのご協力をお願いします。

【アンケート対象者】

市内に住所を有する18歳以

上の方から無作為に抽出した1500人の方
【実施時期・方法】
9月中旬から順次、郵送でアンケートはがきが届きます。ご記入のうえ返送してください。

家計調査にご協力を お願いします

広報広聴課

Tel.0854-40-1015

総務省統計局（島根県）では、市内で家計調査を実施しています。調査票（家計簿など）の記入により、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにする統計調査です。10月からは、大東町飯田において調査が実施されます。調査員が世帯の名簿の作成や、家計簿の記入の依頼に伺いましたら、調査の趣旨をご理解いただき回答をお願いします。

【問い合わせ先】

島根県統計調査課

Tel.0852-22-5072

「2027年版 島根県民手帳」の販売

広報広聴課

Tel.0854-40-1015

「2027年版島根県民手帳」を販売しています。購入を希望される方は広報広聴課か総合センターのいずれかでお買い求めください。

【販売価格】

1冊700円（税込み）

※支払方法は現金のみ

【販売期限】

令和9年1月29日（金）まで

県税窓口の 受付時間変更

税務課

Tel.0854-40-1034

9月1日から県税窓口の受付時間が次のとおり変更になりました。

【受付時間】

9時から16時まで

※東部県民センター自動車税管理課は8時45分から16時までです。

【対象窓口】

島根県東部県民センターほか各県税窓口

※電話での問い合わせについては、変更後も8時30分から17時まで受け付けています。

す。

※窓口に行かなくてもできるキャッシュレス納付や納税証明書の電子申請、地方税ポータルシステムからの電子申告・電子納付もご利用ください。

【問い合わせ先】

島根県東部県民センター雲南事務所
Tel.0854-42-9520

中央線がない道路の法定速度が30キロメートル毎時に変わりました

くらし安全室
Tel.0854-40-1027

生活道路での重大事故の発生を減少させ、安全対策を図ることを目的に、9月1日から中央線がない道路の法定速度が「30キロメートル毎時」に変わりました。運転される際はご注意ください。

※中央線（センターライン）や中央分離帯などが設けられていない一般道路が対象となります。

※標識や道路標示で最高速度が指定されている場合は、その指定速度に従ってください。

広告枠

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

暮らし・手続き

犬の登録と

狂犬病予防注射

環境政策課

TEL 0854-40-1033

犬を飼育するときは、狂犬病予防法に基づき、犬ごとに市窓口へ登録の届け出をする義務があります。

併せて、犬の飼い主は毎年4月1日から6月30日までに1回、飼っている犬に狂犬病予防注射を接種すること、接種したことを市へ届け出ることが義務付けられています。

まだ飼い犬の狂犬病予防注射を接種していない場合は、動物病院で接種し、環境政策課か総合センターのいずれか

今月の税金

- 市県民税・森林環境税【第3期】
 - 国民健康保険料【第4期】
 - 後期高齢者医療保険料【第4期】
- 納期限は11月2日(月)です。

口座振替の方は、前日までに残高を確認してください。

に届け出をお願いします。届け出がない場合は、予防注射接種の案内はがきを送付することがあります。

また、高齢や病気のため、動物病院で接種猶予の診断を受けられた場合、または飼い犬が亡くなった場合も、環境政策課か総合センターのいずれかに届け出をお願いします。

屋外に看板やポスターを設置する皆さんへ

都市計画課

TEL 0854-40-1064

島根県では良好な景観の形成などを目的に屋外広告物条例を定め、各市町村で設置許可や違反広告物対策を行うなど、必要な規制・誘導を行っています。

これから屋外に看板やポスターを設置される場合は、次の要点を参考に屋外広告物の適正な設置に協力をお願いします。

また、既に設置されている場合も、次の要点を参考に安全点検を行い、屋外広告物の適正化に努めましょう。

【屋外広告物条例要点】

(1)屋外広告物を設置するには事前に市町村長の許可が必要

要です。

(2)屋外広告物の種類に応じて面積や高さなどの基準があります。

(3)著しく破損したものや倒壊のおそれがある屋外広告物は設置できません。

(4)屋外広告物設置工事の発注は屋外広告業登録済みの屋外広告業者に行いましょう。

(5)禁止地域には屋外広告物を設置できません(禁止地域の例：第1種低層住居専用地域内、古墳、墓地、火葬場および葬祭場など)。ただし、以下の屋外広告物を設置できる場合があります。詳細は問い合わせください。

- ・店舗、事業所の建物や敷地内に、その名称や取り扱うサービス内容を記載する屋外広告物(1敷地内合計7㎡以内に限る)。
- ・土地、建物の管理上の必要から、注意事項などを記載する屋外広告物(1敷地内合計7㎡以内に限る)。
- ・店舗や事業所の案内のため敷地外に設置する屋外広告物(記載内容、面積、高さなどの制限あり)。
- ・自治会住宅案内図、主要な

観光地の案内用広告物(記載内容、面積、高さなどの制限あり)。

(6)設置後の屋外広告は、適切に補修を行うなどして良好な状態で管理しましょう。

(7)必要なくなった屋外広告は速やかに撤去しましょう。

【問い合わせ先】

雲南市都市計画課

TEL 0854-40-1064

島根県都市計画課

TEL 0852-22-6143



〈県ホームページ〉

年金出張相談

市民生活課

TEL 0854-40-1031

出張相談での年金手続き・相談は予約制となります。※予約は、前日(前営業日)までにお願います。

【相談日】

10月28日(水)、12月23日(水)、令和9年2月26日(金)10時から15時30分まで

雲南市役所本庁舎2階

【場所】

202・203会議室

【予約の手順】

- ①年金手帳など基礎年金番号の分かるものを準備してください。
- ②0852-23-9540へ電話をしてください。
- ③音声案内が流れますので「1」の後に「2」を選択してください。
- ④担当者に「雲南市役所での出張相談予約」と伝えてください。
- ⑤担当者の質問に答えてください。

【予約・問い合わせ先】

松江年金事務所

TEL 0852-23-9540

塩分をひかえるコツ うんなん愛の減塩プロジェクト

甘いお菓子に含まれる食塩に気を付ける

お菓子にも甘さを引き立てるための塩が入っていることがあります。食品のパッケージに記載されている「食塩相当量」を確かめる習慣をつけましょう。



【問】健康推進課 TEL0854-40-1045

子育て・保健・福祉

移植医療について

考えてみませんか？

保健医療政策課

TEL 0854-40-1040

移植医療は、関係者だけでなく、第三者の方からの善意、そして社会の理解と支援により成り立っています。

臓器提供の意思表示は、マイナンバーカード・運転免許証・インターネットによる意思登録・臓器提供意思表示カードにより行うことができます。

ご自身の意思を家族で話し合いましょう。

【問い合わせ先】

しまねまごころバンク

TEL 0853-22-2556



■10月は
臓器移植普及推進月間
造血幹細胞移植普及推進月間

■10月10日は
目の愛護デー

雲南市低所得世帯緊急支援給付金

エネルギー・食料品価格などの物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯)の生活支援を目的に、県の補助金を活用した給付金を支給します。
※この給付金は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用したものです。

【支給額】 1世帯あたり3万円

【対象となる世帯】 基準日(令和8年1月1日)時点で雲南市に住民票があり、世帯全員が令和7年度の住民税が非課税である世帯。

- ・給付対象となるのは、世帯の世帯主です。
- ・基準日以降に同一住所において別世帯とする世帯分離の届け出があったものは、同一世帯とみなされます。

※以下の内容に該当する場合は、対象となりません。

- ・世帯全員が、令和7年度の住民税均等割が課されている他の親族などの扶養を受けている世帯。
- ・世帯の中に、住民税が課税となる所得があるのに、未申告の方がいる世帯。
- ・令和8年1月2日以降に修正申告し、住民税課税世帯となった場合には給付金の支給対象外となるため、健康福祉総務課まで問い合わせください。

【支給方法】

雲南市から [1] か [2] のいずれかが届きます		
発送書類	[1] 支給通知書	[2] 支給要件確認書
対象世帯	過去に雲南市から臨時給付金を振り込まれたことがある世帯	・左記以外の令和7年度住民税非課税世帯 ・基準日の翌日以降に世帯の状況が変わった世帯、修正申告をした世帯 ※対象と思われる世帯に順次発送しています。
申請方法	対象世帯へは8月に支給通知書を発送し、9月4日(金)に振り込みが完了しています。	【電子申請】 案内文書に同封している申請手順書でご確認ください。 ※電子申請した場合、確認書の郵送提出は不要です。 【郵送による申請】 必要事項を記載の上、確認書類と合わせて提出してください。
申請期限		10月30日(金) (郵送の場合は当日消印有効)

【問】健康福祉総務課 TEL 0854-40-1041

10月は里親月間です 里親になりませんか

こどもたちに、家庭のぬくもりを

さまざまな事情により家族と一緒に生活することができないこどもたちがいます。里親とはこうしたこどもたちを自分の家に迎え入れ、家庭的な環境の中で愛情を込めて養育してくださる方です。

里親の家庭で愛情に包まれて家族の一員として暮らすことにより、こどもたちは一人の人間として大切にされ、愛されているという感覚を持ちながら育つことができます。

こどもたちのために、あなたにもできることがあります

里親には、こどもが家族と一緒に生活できるようになるまで養育する「養育里親」と、養子縁組により養親となることを希望する「養子縁組里親」があります（このほかに専門里親、親族里親があります）。

こどもが好きであり、愛情と熱意を持って、真心を込めて養育してくださる方を求めています。養育里親の場合は、長期の養育だけでなく、月に1～2回程度、主に土日や長期休み中に数日間といった短期間の家庭生活体験をさせてくださる方も求めています。

里親制度についての詳細は、県ホームページでご確認ください。

（県ホームページ）



▲県パンフレット

【問】出雲児童相談所 Tel 0853-21-0007

「思いやり駐車場」を知っていますか？

「思いやり駐車場」とは、公共・商業施設などに設けられた車いす駐車区画等のうち、障がい・難病・高齢・傷病・妊産婦などで、歩行や車の乗降が困難な方が安心して外出できるように準備された駐車スペースのことです。

島根県では、障がいのある方、けがや病気などで歩行が困難な方に対して「思いやり駐車場」の利用証を交付する「思いやり駐車場制度」を導入しています。

【利用証の交付を受けるには？】

要件に当てはまることを確認できる書類を長寿障がい福祉課か総合センター市民福祉課・市民サポート課のいずれかに持参してください。利用証はその場で交付します。

【利用証の交付を受けることができる方】

- 歩行が困難であり以下に当てはまる方
 - 身体障害者手帳をお持ちの方（障害区分、等級によっては交付できない場合があります）
 - 療育手帳をお持ちの方で、障害程度「A」の方
 - 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で、障害等級「1級」の方
 - 介護保険被保険者証の要介護状態区分等の欄に「要支援1」以上の記載がある方
 - 特定疾患医療受給者証か、小児慢性特定疾患医療受給者証のいずれかをお持ちの方
- けがや病気などで歩行が困難な方
- 妊産婦

申請に必要なものなど、詳細は島根県ホームページに掲載しています。

【利用できる期間の目安】

- 妊産婦：母子健康手帳取得時から産後2年間（多胎児の場合は、産後3年間）。
- 傷病などで歩行困難な方：最大1年で必要な期間。ただし、傷病などで回復の見込みがない方の利用証には有効期間なし。

利用証（見本）



（県ホームページ）

【問】長寿障がい福祉課 Tel 0854-40-1042

将来の不安に備えませんか？

「もしも」の時に備えて、今できる安心を 障がいのある方やご家族の「事前登録」を受け付けています ～地域生活支援拠点等の整備事業～

市では、障がいのある方が地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉事業所と連携したサポート体制を整えています。事前に登録しておくことで、急な困り事があった際、スムーズに必要なサービスが受けられるよう準備を行います。

相談

「もしも」の時の不安を事前にお伺いします。サービス利用の体験なども可能です。

緊急時の対応

急な事態が起きた際、本人が生活に困らないよう、迅速に福祉サービスを調整します。

将来の生活

住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、必要な支援につなげます。

すでにサービスを利用中の方は担当の相談支援専門員にご相談ください

登録するとどうなるの？

- まず、下記の相談窓口へ気軽にご連絡ください。
- 雲南市基幹相談支援センターが、本人や家族の状況を丁寧にお聞きします。
- 担当の相談支援事業所へつなぎ、「もしも」に備えて専門員と一緒にプランを立てます。

対象となる方

- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方
 - ・診断書などにより、精神障がい、発達障がいがあると認められる方
 - ・指定難病など、障害者総合支援法の対象難病にかかっている方
- ※65歳以上の方は、介護保険サービスが優先となります。

【問】雲南市基幹相談支援センター Tel 0854-47-7101 / 長寿障がい福祉課 Tel 0854-40-1042

高齢者インフルエンザ予防接種・高齢者新型コロナウイルス予防接種

10月から高齢者の方などを対象にインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の定期接種を実施します。接種後、ウイルスに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかるため、流行する前の接種をお勧めします。

予防接種の種類	インフルエンザ	新型コロナウイルス
対象者	市内に住民登録があり、接種日当日に ①満65歳以上の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、次の状態に該当する方 ・心臓、腎臓または呼吸器のいずれかの機能に、身の回りの日常生活活動が極度に制限される程度の障がいがある方 ・ヒト免疫不全ウイルスにより、免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方	
実施期間	10月1日～令和9年1月31日	
自己負担額	2,000円（期間中1回のみ）	6,000円（期間中1回のみ）
	生活保護世帯の方：無料（受給者証明書の提出が必要です）	
接種方法	・接種を受ける医療機関へ事前に予約をしてください。 ・医療機関に備え付けの予診票を、予約の際に接種当日に受け取ってください。 ・予診票裏面の説明書を読んで記入してください。	
持参品	本人確認書類（マイナンバーカードなど）、自己負担金	
その他	インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの接種間隔に制限はないので同時接種もできます。医療機関に相談してください。	

【問】健康推進課 Tel 0854-40-1045

募集

市営住宅などの 入居者募集

建築住宅課

Tel 0854・40・1065

◆市営住宅など

【募集期間】

10月5日(月)から10月13日(火)
17時締め切り

【募集団地】

10月1日(木)に市ホームページ、島根県住宅供給公社ホームページへ掲載します。



〈市ホームページ〉

【決定方法】

選考により入居者を決定します。

◆公社定住促進賃貸住宅

随時募集しています。

【問い合わせ・申込先】

雲南住宅管理事務所

8時30分から17時15分まで
(土・日・祝日を除く)

Tel 0854・47・7151

島根大学公開講座

受講生募集

Tel 0854・40・1073

島根大学では、令和8年度

公開講座の受講生を募集しています。

【募集講座】

オンラインマインド講座

・「はじめての建築学」
・「数理・データサイエンス講座」

【募集期間】

令和9年2月28日(日)まで

【受講日程】

令和9年3月31日(水)まで随時受講可能

【申し込み方法】

島根大学ホームページの申し込みフォームからお申し込みください。

(https://cerd2.shimane-u.ac.jp/open_lecture/)

【受講料】 必要

※講座ごとに異なります。詳細は島根大学ホームページをご確認ください。



〈島根大学ホームページ〉

【問い合わせ先】

島根大学教育企画課(公開講座担当)

Tel 0852・32・6707

イベント情報

くらし・しごと／悩み事 出張相談会in雲南

商工振興課

Tel 0854・40・1052

生活に関する悩みや仕事に関する不安、悩み事を抱えた方を対象に、解決に向けて適切なアドバイスや必要な窓口の紹介を行います。

【日時】 10月6日(火)10時から16時まで

【場所】

中国労働金庫雲南支店

【相談料】 無料

【注意】

会場に駐車場はありません。

【問い合わせ・申込先】

くらしサポートセンター島根
Tel 0120・969・234

福祉職場相談会

商工振興課

Tel 0854・40・1052

福祉の仕事に関心のある方、福祉職場への就職を希望する方を対象に、雲南地域の事業所が働き方や募集中の求人について説明します。
また、福祉人材センターが



〈県ホームページ〉

【料金】 無料
【相談員】 弁護士、労働組合役員、会社経営者など
※秘密は厳守します。
【対象】 労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。パートタイマーやアルバイトについての相談も受け付けます。

【申し込み】

事前予約者優先ですが、当日受け付けも可能です。12時までに会場にお越しください。

【問い合わせ・申込先】

島根県労働委員会事務局

Tel 0852・22・5450

難病医療講演会

長寿障がい福祉課

Tel 0854・40・1042

しまね難病相談支援センターでは、心筋症(特発性拡張型心筋症、肥大型心筋症、拘束型心筋症)、全身性アミロイドシスの患者や家族、支援者などを対象に、心筋症、全身性アミロイドシスをテーマに難病医療講演会を開催します。

参加には事前申し込みが必要

要です。詳しくはしまね難病相談支援センターに問い合わせください。

【日時】 11月9日(月)14時から16時まで

【場所】 島根県出雲合同庁舎 (出雲市)

※県内の各保健所でオンライン受講が可能です。

【参加費】 無料

【申込締切日】

10月30日(金)

【問い合わせ・申込先】

しまね難病相談支援センター
Tel 0853・24・8510

サンワーク木次

10月から12月の教室

産業観光総務課

Tel 0854・40・1093

サンワーク木次では10月から12月期に次の教室を開催します。気軽にお越しください。

◆第3回ヨガ教室

ヨガのポーズと呼吸法で健康維持、自律神経を整えます。

【日時】

・火曜コース

10月6日(火)から12月22日(火)

(全10回) 10時から11時まで

・木曜コース

10月1日(木)から12月17日(木)

(全10回) 19時から20時まで

・土曜コース

10月3日(土)から12月19日(土)

(全10回) 10時から11時まで

【定員】

・火・木曜コース 各25人

・土曜コース 16人

※各コース定員になり次第受け付けを終了します。

◆第3回コンディショニング教室

体の歪みを整えたり、リンパを流して体の調子を整えたりします。

【日時】

10月2日(金)から12月18日(金)

(全10回、いずれも金曜日) 13時30分から14時30分まで

◆第3回体力アップサポートクラス

筋力トレーニング、ストレッチ、バランス運動などを行います。

【日時】

10月5日(月)から12月21日(月)

(全10回、いずれも月曜日) 14時から15時まで

【場所】 サンワーク木次

【参加料】 6千円(全10回)

※1回800円から参加できます。

【問い合わせ先】

サンワーク木次

Tel 0854・42・9090



第41回掛合町ふるさとまつり

と き 10月11日(日) 9:00~14:00
ところ 掛合総合センター周辺
内 容 むかで2026、掛合音頭、掛合太鼓揃い打ち、防災車両展示、出店など

【問】 掛合町ふるさとまつり実行委員会(掛合総合センター市民サポート課内) Tel 0854-62-0300

第44回大東よいとこ祭

と き 10月18日(日) 10:00~15:00
ところ 大東交流センター周辺
内 容 ステージイベント、テント村、文化展、各種大会など

【問】 大東よいとこ祭実行委員会事務局(大東総合センター自治振興課内) Tel 0854-43-8160

第1回加茂よっといで新そば祭り

と き 11月1日(日) 10:00~15:00
ところ 加茂交流センター周辺
内 容 ステージイベント、マルシェ、こども向けイベントなど
【問】 加茂よっといで新そば祭り実行委員会(加茂交流センター内) Tel 0854-49-8380

第44回きすきがっしょ祭り

と き 11月1日(日) 10:00~14:00
ところ 木次小学校周辺
内 容 ステージイベント、テント市、作品展など
【問】 きすきがっしょ祭り実行委員会(木次総合センター自治振興課内) Tel 0854-40-1080

第22回ななかまどフェスタ

と き 11月1日(日) 9:30~15:00
ところ 吉田中学校体育館・吉田街並み駐車場
内 容 ステージイベント、テント村、文化展
【問】 ななかまどフェスタ実行委員会(吉田総合センター市民サポート課内) Tel 0854-74-0211

その他

日本遺産シリーズ

いずものくに
出雲國たたら風土記 ～ 鉄づくり千年が生んだ物語 ～

地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。今年は、この地域のたたら製鉄（日本古来の鉄づくり）に関するストーリー「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」が日本遺産に認定されてから10周年を迎えます。

◆出雲國たたら風土記を感じるモデルコースの紹介 vol.3

～たたらで大人旅～

たたらの遺構や鉄師住宅など、歴史に彩られた景観や伝統文化を訪ねます。周遊の際にガイドが必要な場合は鉄の道文化圏推進協議会事務局（Tel 0854-40-1054）へご相談ください。

【所要時間の目安（移動時間含む）：約8時間】

①田部家土蔵群と吉田の町並み（雲南市吉田町）：明治期にタイムスリップしたかのような懐かしい町並みを散策。30分



田部家土蔵群と吉田の町並み（雲南市）

②菅谷たたら山内（雲南市吉田町）：たたら製鉄に従事した人たちが暮らしてきた集落を訪ね、先人の知恵と技術を体感。50分

③絲原家住宅／絲原記念館（奥出雲町大谷）：重厚な国登録有形文化財の一角でゆったりカフェタイムと庭園散策。記念館ではさまざまな美術工芸品も鑑賞できる。1時間



絲原記念館（奥出雲町）

④稲田神社／姫のそば ゆかり庵（奥出雲町稲原）：スサノオノミコトと結ばれた稲田姫を祀る稲田神社。社務所で提供される手打ちの出雲そばと天日干し仁多米などに舌鼓。1時間

⑤足立美術館（安来市古川町）：世界中の日本庭園ファンを魅了する庭園美と美術品を鑑賞。2時間

⑥安来節演芸館（安来市古川町）：島根の民謡安来節の殿堂。山陰唯一の栈敷席から本場の歌と踊りを堪能。土日祝の定期公演に合わせて名物「どじょうすくい踊り」の体験も可能。50分



安来節演芸館の演芸ホール（安来市）

【問】観光振興課（鉄の道文化圏推進協議会雲南市担当課） Tel0854-40-1054

笑えて、学べる！みんなの講演会 ～雲南市脱炭素フォーラム2026～

と き 10月12日（月・祝） 13:30～15:30

と ころ 本次経済文化会館 チェリヴァホール

内 容 テレビ出演・著書多数の2人に、家電・節約・ゴミの最新情報について講演していただきます。3人乗り電動トゥクトゥクなどの最新EV車や断熱製品など暮らしに役立つ製品の展示体験会も開催します。

13:45～ 講演① 講師：和田 由貴さん（節約アドバイザー）

14:15～ 講演② 講師：滝沢 秀一さん（お笑い芸人兼ゴミ清掃員）

14:45～ パネルディスカッション

その他 無料託児（事前申し込みが必要）があります。右記二次元コードから申し込みください。



（申し込みフォーム）



和田 由貴さん

消費生活アドバイザー、家電製品アドバイザー、食生活アドバイザーなど、幅広く暮らしや家事の専門家として講演、執筆、テレビ出演など多方面で活動。



滝沢 秀一さん

お笑いコンビ「マシンガンズ」で活動しながら、妻の妊娠を機にゴミ収集会社で働き始める。ゴミ収集の体験をもとにSNSや執筆、講演会などで発信している。

【問】環境政策課 Tel 0854-40-1033

令和8年度 鉄の歴史村の講演会

令和7年度の菅谷たたら山内総合文化調査の最新成果を報告します。多角的な視点から「たたら」の魅力に迫ります。

と き 10月11日（日） 13:30～

と ころ 吉田町生涯学習交流館

参加料 無料（参加申し込み不要）

講演・講師



菅谷たたら山内「高殿」

- ・「明治・大正期における田部家のたたら製鉄業事業と支配人（一番手代）の変遷」
鳥谷 智文さん（松江工業高等専門学校人文科学科教授）
- ・「栗谷中場鉄蔵の調査」
角田 徳幸さん（雲南市教育委員会文化財課課長）
- ・「雑炭を用いた近代たたら操業で得られた鉬塊および鉄滓の光学顕微鏡観察」
新野邊 幸市さん（松江工業高等専門学校機械工学科教授）
- ・「鉄師田部家の万博発信－シカゴ（1893）・パリ（1900）万博にみる「発明」ではない技術発信－」
吉田 亮史さん（東京科学大学環境・社会理工学院博士後期課程）
- ・「菅谷たたら山内の民具」
岩城 こよみさん（公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団事務局長）

【問い合わせ先】（公財）鉄の歴史村地域振興事業団 Tel 0854-74-0311

【問】文化財課 Tel 0854-40-1075

図書館だより

市立図書室の利用案内

三刀屋図書室（永井隆記念館内）
電話：0854-45-2239
開館時間：9:00～17:00
休館日：毎週月曜日（12を除く）
13日（火）、14日（水）

吉田図書室（吉田交流センター内）
電話：0854-74-0219
開館時間：8:30～17:00
休館日：毎週土・日曜日、祝日

掛合図書センター“陽だまり館”
（掛合交流センター内）
電話：0854-62-0189
開館時間：火・金曜日 8:30～18:00
水・木・土曜日 8:30～17:00
休館日：毎週日・月曜日、祝日

市立図書館の利用案内

木次図書館 Tel.0854-42-1021 開館時間：10:00～18:00

10月の休館日 毎週月曜日、振替休館日：13日（火）、図書整理日：31日（土）

イベント案内 ☆ろうそくのおはなし会 25日（日）14:00～14:40（要申し込み）

大東図書館 Tel.0854-43-6131 開館時間：10:00～18:00

10月の休館日 毎週金曜日、12日（月・祝）、図書整理日：31日（土）

イベント案内 ☆古本再生市 18日（日）10:00～15:00
☆こぐまちゃんくらぶ（わらべうた遊びの会 対象：乳幼児とその家族の方）
19日（月）10:30～（30分程度）（要申し込み）
＊毎週月曜日午前中（10:00～12:00）は「いいよのじかん」です。

加茂図書館 Tel.0854-49-8739 開館時間：10:00～18:00

10月の休館日 毎週木曜日、12日（月・祝）、図書整理日：31日（土）

イベント案内 ☆図書館まつり 11日（日）10:00～12:00
古本市やおはなしチューリップたのしい絵本の会など 詳細はチラシをご覧ください。

新着の本（抄） 市内図書館どこでも借りることができます。貸し出し中の場合は予約（取り寄せ含む）ができます。各館へお問い合わせください。本の検索には、上記二次元コードの雲南市立図書館ホームページ《蔵書検索》を利用してください。

▼東野圭吾「永遠の記憶 ガリレオ①」▼湊 かなえ「王国」▼三浦しをん「夜の恩寵」▼恩田 陸「傾斜のマリア」▼住野よる「夜想い」▼瀬尾まいこ「はじまりのスープ、夏ゼリー」▼岡村靖幸「短歌と一緒にしませんか」▼山内マリコ「陽子さんはお元気ですか？」▼中山七里「能面検事の挫折」▼東川篤哉「夜の喜劇ー東川篤哉短編集ー」▼真山 仁「シャドーゲーム」▼夕木春央「楽園」▼有手 窓「お隣さんの置き配がヤバすぎる」▼小砂川チト「ゾンビ回収婦」▼町田そのこ「コンビニ兄弟⑤」▼野宮 有「殺し屋の出世術」▼池井戸 潤「ハヤブサ消防団②」▼岡本さとる「旗本遊侠伝①～③」▼山口恵以子「コロケに愛を！ 食堂のおばちゃん②」▼佐藤愛子「こんな幸福もある」▼小林聡美「むしろ映えてる日々」▼美輪明宏「幸せの大盤振る舞い」▼黒木 華「はるの献立日記」▼なかじ「麹づくりと発酵しごと」▼しょうけん「発酵ライフ」▼鎌田 実「身辺整理」▼大蔵主税「税務署員うつうつ日記」▼神立尚紀「ドキュメント軍人たちの戦後」▼池原真佐子「『メーター』の教科書」▼高橋 創「図解いちばん親切なお金の本」▼早乙女智子 監修「ほか」「どうちがう？無痛分娩と自然分娩」▼世原宏之「実例で読み解く日本の名前と漢字」▼渡邊文善「日本ご当地マンホール大全」▼松原徹郎、松原久美「探す・探る・増やす食べる薬草手帖 改訂版」▼大熊 孝「川がつくつた川、人がつくつた川」▼農文協 編「農家が教える園の力で肥料がいらぬ農業」▼阿古真理「47都道府県おいしいもの巡り」▼山岸美喜「葵の紋を継ぎまして。」▼鈴木道雄 監修「ルールやしぐみを知れば、どんどん覚ええられる！手話単語」



市立図書館
ホームページ



市立図書館
Facebook

瑞風バスの運行日程

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の雲南市への立ち寄り観光は、「たたら製鉄の遺構と茶の湯文化・松江の探訪」と題し、2泊3日の山陽・山陰コース（周遊）の2日目になります。市民の皆さんには、沿道から小旗を振っていただくなど歓迎いただきありがとうございます。行程は次のとおりです。

10月～12月立ち寄り観光の予定日（いずれも木曜日）

10月8日、15日、11月5日、12日、19日、12月10日、17日

立ち寄り観光の行程

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」（宍道駅7:53着）

8:10ごろ 瑞風バス宍道駅発

↓ ～ 宍道 ～ 国道54号（市役所前8:30ごろ）～ 三刀屋木次IC～ 吉田掛合IC

9:00ごろ

●「菅谷たたら山内」見学（～9:50ごろまで）

●「田部家邸内、土蔵群」見学（～11:15ごろまで）

11:15ごろ

↓ ～ 吉田掛合IC ～ 三刀屋木次IC ～ 木次大橋（11:30ごろ通過）～ 木次駅 ～ 來次神社前 ～ 日登

11:50ごろ

●「食の杜 かやぶきの家」昼食

13:00ごろ

↓ ～ 飯石広域農道 ～ 県道松江木次線

13:30ごろ

●「古代鉄歌謡館」出雲神楽鑑賞

14:30ごろ

↓ ～ 県道松江木次線

15:00ごろ 明々庵（松江市）

16:15ごろ 「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」乗車（松江駅）

※瑞風バスによる市内の立ち寄り観光は、道路や気象などの状況により変更される場合があります。



【問】観光振興課 Tel. 0854-40-1054

手話チャレンジ！

市では、障がいへの理解と手話をはじめとする多様なコミュニケーション手段の理解と普及を図り、障がいのあるなしに関わらず誰もが住みよいまちづくりを進めています。日常生活で使える「手話」を紹介しますのでチャレンジしてみてください。

1 今月の手話：「チャレンジ」

【今月の手話実演】
雲南市役所政策企画部：
板持部長



左手親指に右手親指を斜め下から勢いよく近づける。



市では、地域で手話体験教室などを企画された団体に、当事者・手話通訳者を講師として派遣する事業を実施しています。希望される場合は、雲南広域福祉会パレット（Tel. 0854-45-0020）にお問い合わせください。

INFORMATION

みんな集まれ！き^{すき}駅フェス2026

今年も、元気いっぱい！木次線まつり、鉄道記念日イベント、秋の賑わい市、きすきマルシェを同時開催します。

と き 10月12日(月・祝) 10:00～15:00

と ころ 木次駅周辺

鉄道模型展示や芸備線・木次線・一畑電車のグッズ販売をはじめ、飲食・物販の出店、ステージイベント、ギャラリー展示など、さまざまな企画が開催されます。
また、前日の10月11日(日)には、簸上鉄道開業110周年を記念し、記念映画がチェリヴァホールで上映されます。

【問】元気いっぱい！木次線まつり実行委員会
(チェリヴァホール内) Tel0854-42-1155

令和8年度 雲南市総合社会福祉大会

と き 10月14日(水) 13:30～15:30

と ころ 木次経済文化会館チェリヴァホール

式 典 長寿者表彰、功労者表彰など

講演会 (演題) 「高齢期の栄養と食生活を学ぼう」

(講師) 荒井 恵美子^{あらい えみこ}さん (島根県立大学健康栄養学科准教授)

【問】健康福祉総務課 Tel0854-40-1041

第38回 島根県スポーツ・レクリエーション祭

さくらおろち湖めぐりウォーキング大会

と き 10月18日(日) ※雨天決行

9:00 受け付け

9:45 出発式

10:00 ウォーキングスタート (小学生以下は保護者同伴)

集合場所 さくらおろち湖自転車競技施設

コース さくらおろち湖自転車競技施設→北原大橋→尾原ダム→ポート競技施設→スサノオ大橋→ダムの見える牧場→さくらおろち湖自転車競技施設(約5.6km)

参加費・申込方法 8月の自治会回覧チラシか島根県スポーツ協会ホームページ(県スポレク祭)でご確認ください。

【問】雲南市ウォーキング協会 Tel0854-45-4901

深谷温泉まつり

と き 10月18日(日) 9:00～12:00

と ころ みとや深谷温泉「ふかたに荘」

内 容 新米おにぎり・豚汁の振る舞い、鍋山産新米つかみ取り、そば打ち実演・販売、鍋山産野菜や特産品の販売、スリーピース歌謡ショーなど

※先着50人に無料入浴券プレゼント

※来場者全員にふかたに荘オリジナルタオルプレゼント

【問】深谷温泉まつり実行委員会(鍋山交流センター内)
Tel0854-45-4241

加茂岩倉遺跡銅鐸出土30周年記念まつり

こどもたちがミニ銅鐸づくりなどの体験活動を通して、楽しみながら歴史を学ぶことができる祭りです。家族そろってお越しください。

と き 10月24日(土) 10:00～15:00

と ころ 雲南市加茂文化ホールラメール 北広場・駐車場

内 容 ミニ銅鐸鑄造・勾玉づくり・火起こし体験などの古代体験ほか

※加茂岩倉遺跡ガイダンスへのシャトルバスを運行します。ガイダンスではガイドによる説明を聞くことができます。

※まつりの詳細は市ホームページでご確認ください。

【問】文化財課 Tel0854-40-1075



(市ホームページ)

コトリエット秋の家族イベント

出雲農林高校の移動動物園が中心市街地活性化施設コトリエットにやってきます。動物たちと触れ合えるコーナーがあります。

同時開催でミニ露天市も開催されます。

と き 10月25日(日) 10:00～14:00

と ころ 三刀屋公園「第一広場」コトリパーク

入場料 無料

【問】雲南市中心市街地活性化協議会 Tel0854-45-0008

●市報うんなん No.263 2026年10月発行
発行・編集／雲南市役所 政策企画部 広報広聴課
〒699-1392 雲南市木次町里方521-1
TEL 0854-40-1015 FAX 0854-40-1029
E unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口・・・33,325人(－23人)

男 性・・・16,161人(－13人)

女 性・・・17,164人(－10人)

世帯数・・・13,532世帯(－1世帯)

令和8年9月1日現在(先月比)



この印刷物は環境に配慮し、大豆油にかわり米ぬか油を使用したラミネートで印刷しています。